

大通り公園リニューアルプラン(案)

— 一駅分、時には二駅分歩いて楽しい公園へ —



大通り公園に、
エソサチしよう。

<u>CHAPTER 01</u>	はじめに ～プラン策定の背景～	/ p1～
<u>CHAPTER 02</u>	リニューアルコンセプトと目指す姿	/ p3～
<u>CHAPTER 03</u>	リニューアルのポイントとエリアの楽しみ方	/ p6～
<u>CHAPTER 04</u>	今後の予定	/ p14～
<u>< 巻 末 ></u>	01 リニューアルを考える上で必要な視点	/ p16～
	02 プラン策定までの経緯	/ p26～
	03 プラン策定にあたりいただいた主なご意見	/ p28～

はじめに ～プラン策定の背景～

大通り公園リニューアルプランでは、
リニューアルコンセプトやポイントなど、
全体リニューアルの方向性を示します。
本章では、プラン策定の背景について説明します。

大通り公園（中区・南区）は、関内地区と関外地区をつなぐ中央軸に位置し、全長約1.2kmに及ぶ、貴重な緑を有する横浜を代表する公園です。「緑の軸線構想」に基づき、山下公園から日本大通り・横浜公園・蒔田公園を結ぶ公園として、運河を埋め立て、昭和53年に整備されました。以来、市街地の中で豊かな緑を感じることのできる憩いの場として、多くの方に親しんでいただいています。

一方、周辺地域では、令和2年6月の市庁舎移転を契機とした関内駅周辺地区の新しいまちづくりや、世界に誇れる水際線の魅力向上の取組などの新たな動きがあり、水際線から日本大通り・関内駅周辺・大通り公園とつなぐ縦の軸をしっかりと創り上げていくことが求められています。

これらの動きに連動し、横浜を代表する公園として、さらなる魅力向上、また水際線を含む周辺地区との回遊性向上に向けて、公園全体をリニューアルすることになりました。

ついては、地域の皆様や市民の皆様、来街者の方々と、1～8区全体リニューアルの方向性等を共有するため、「大通り公園リニューアルプラン」を策定します。

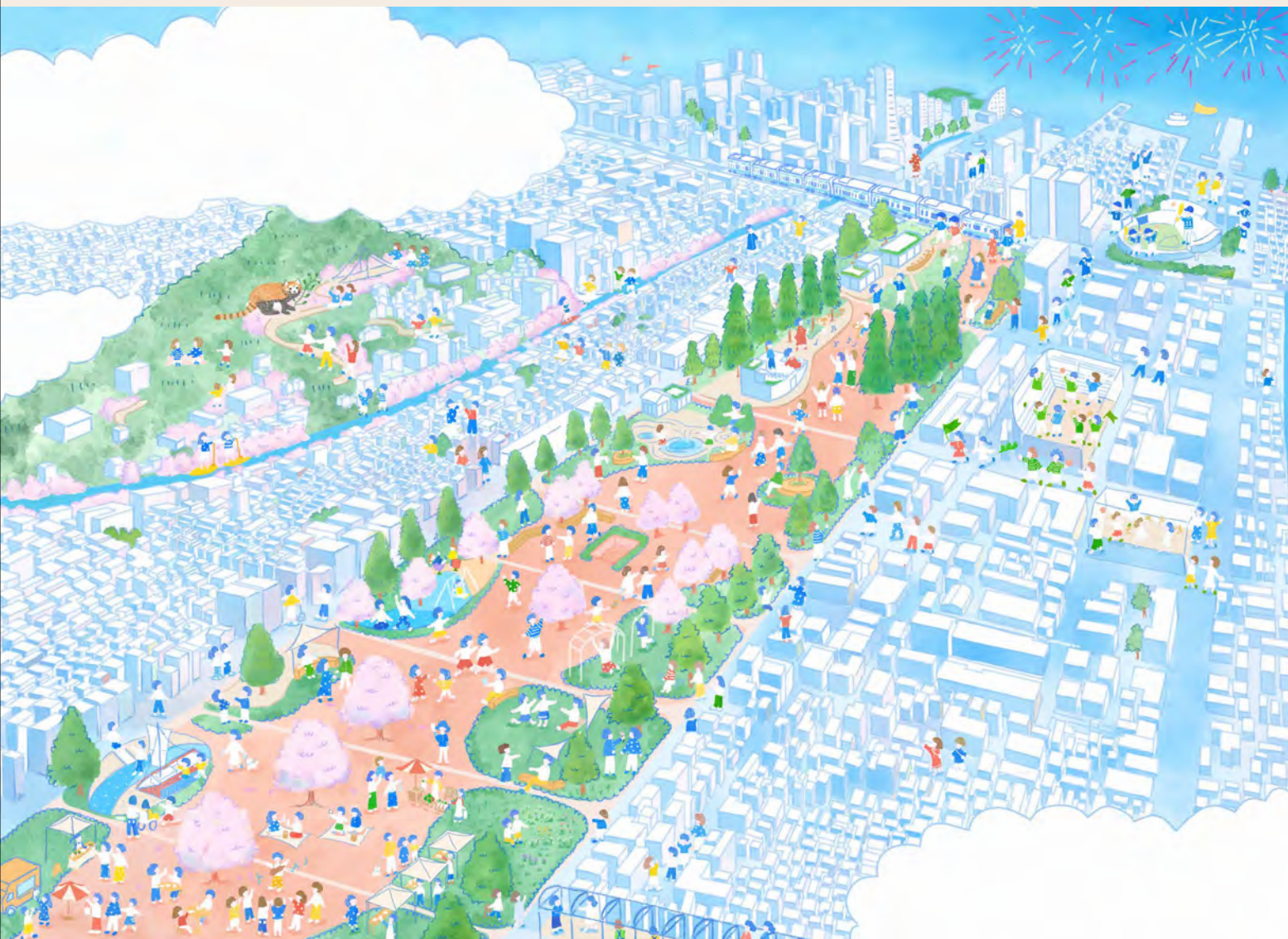
なお、本プランは、関内駅側の1～3区で実施しているPark-PFI事業の内容を包含する形で構成しています。



リニューアルコンセプトと目指す姿

本章では、大通り公園のリニューアルコンセプトと
目指す姿について説明します。

01 リニューアルコンセプト



大通り公園に、
よりみちしよう。

一駅分、時には二駅分歩いて
楽しい公園へ

海から運河そして緑豊かな公園へ
横浜の歴史を継承しながら
次のステージへ

いつでも気軽に
一駅分、時には二駅分
歩いて楽しい公園へ

今日、また
大通り公園に、よりみちしよう。

02 目指す姿

水際線からのにぎわいをつなげ、豊かな花と緑の中で、歴史を継承しながら、
地域の方や来街者の方など誰もが、一駅分、二駅分歩いて楽しい、多彩な魅力あふれる公園

まちから公園へ、公園からまちへ、
双方のにぎわいが連続し、
多くの人が憩い・散策を楽しめる
空間の創出に向けて、
大通り公園をリニューアルします。

令和10年
開園から50年目
リニューアル完了予定

横浜の都心部の象徴的な
グリーン空間の再生

「公園のまちヨコハマ」を
象徴する場所の一つ

につなげていきます。

リニューアルのポイントとエリアの楽しみ方

本章では、2章を踏まえ、リニューアルのポイントと
リニューアルによるエリアの楽しみ方について説明します。

01 リニューアルのポイント

水際線からの連続性を高める取組

水際線から、日本大通り・みなと大通り・旧市庁舎街区等関内駅周辺、そして大通り公園へと、連続性を高める取組を推進します。

公園の魅力向上に向けた取組

公園全体を洗練されたデザインに再構築するとともに、特に以下の5つのポイントを取り入れ、行き届いたメンテナンスを継続して実施することで、歩いて楽しい、多彩な魅力あふれる空間を創出します。

公園全体を洗練されたデザインに再構築

1

思い思いに
憩える休憩スポット

2

四季を感じられる
桜などの花木

3

遊具広場など子育て
世帯にやさしい空間

4

飲食を
楽しめる空間

5

夜間も安心して
楽しめる魅力的な照明

+

継続して実施する行き届いたメンテナンス

一駅分、二駅分歩いて楽しい、多彩な魅力

市営地下鉄
阪東橋駅

市営地下鉄
伊勢佐木長者町駅

JR 関内駅

8区

7区

6区

5区

4区

3区

2区

1区

1

思い思いに憩える休憩スポット

地下鉄の駅からの玄関口としての集うことができる空間や散策の途中に思い思いに腰かけ、くつろげる多彩なベンチなどの休憩スポットを創出します。

2

四季を感じられる桜などの花木

既存の樹木を適切に管理し、見通しが感じられるようにするとともに、日々の散策が楽しくなるような四季を感じられる桜などの花木を新植し、明るい空間を創出します。



リニューアルイメージ

3

遊具広場など子育て世帯にやさしい空間

緑の中で、誰もがのびのびと遊べる遊具広場を中心に、親子で座れる休憩スペース、こどもトイレやベビーベッドなど親子で安心して使える親子トイレへのリニューアルなど、子育て世帯が快適に過ごせる空間を創出します。



リニューアルイメージ

4

飲食を楽しめる空間

自然を眺めながら憩えるカフェやレストランのほか、屋外でも飲食を楽しめるデッキや公園全体を見渡せるルーフトップテラスを備えた休憩所等の休憩施設を創出します。



※イメージバースのため、今後の設計等により変更となる場合があります。

5

夜間も安心して楽しめる魅力的な照明夜間

夜でも安心して歩ける明るさを確保し、階段や園路のフットライト、樹木のライトアップなど、魅力的な照明演出を行います。

継続して実施する行き届いたメンテナンス

リニューアル後も、こまめな植栽管理や公園の美化、適切な時期での遊具更新、地域の方や周辺施設と連携したイベントの開催、歴史を学べるサイン掲出など、歩いて楽しい、快適で心地よい空間としてメンテナンスを継続して行います。



リニューアルイメージ

02 エリアの楽しみ方

リニューアルした大通り公園によりみちしながら、周辺エリアも含めた楽しみ方を提案します。

ケースイメージ 1

周辺地域にお住まいの方や通勤・通学している方 ～様々な日常使いの様子～

今日は天気がよいから、犬と一緒に公園に散歩しに行こう！

公園内の四季折々の花を見ながら、ベンチでゆっくり本でも読もう

帰りに、横浜橋通商店街でお惣菜を買おう！



大学の授業の帰りに、公園内で開催されているイベントに寄ってみよう！

イベントで買ったお菓子とコーヒーを片手に、公園のベンチに座りながら、友達とゆっくりとした時間を過ごそう



来街者の方
～小学生のこどもを持つ子育て世帯の土曜日の様子～

今日は、阪東橋駅からスタート



授業で習った吉田新田の歴史を学びながら、こどもの遊び場でおもいっきり遊ぼう！



昼は、伊勢佐木町商店街でランチ

公園愛護会の方々と一緒に公園の清掃をして、公園内のカフェで一休み



夕ご飯は、中華街でもみなとみらいでも



宿泊したら、次の日、横浜スタジアムで野球観戦や野毛山動物園の楽しみも増えるね！



今後の予定

本章では、リニューアルに向けた今後の予定について説明します。

令和7年度～

大通り公園リニューアルプラン（案）に対する意見募集
リニューアルプラン確定
設計・工事

令和9年

Park-PFI事業供用開始

令和10年

全体リニューアル完了予定

< 巻末 >

大通り公園のリニューアルを考える上で必要な視点として、
公園の歴史・特徴・現状・課題について、またプラン策定までの経緯、
プラン策定にあたりいただいた主なご意見について説明します。



01 リニューアルを考える上で必要な視点

1-1

公園の歴史

江戸時代以前

当初は、大岡川河口部の入海でした。

江戸時代1656年頃

吉田新田完成 横浜市の歴史として小学4年生で学習
江戸時代初期、江戸の材木・石材商吉田
勘兵衛により開墾され、新田となりました。

明治時代1896年頃

横浜が開港し、水陸の交通の便をよくす
るため、吉田新田の中央部に、吉田川・新
吉田川の運河が作られました。



横浜市歴史博物館HPより



01 リニューアルを考える上で必要な視点

1-2

公園の歴史

戦後1945年以降

横浜大空襲から戦後の接収を経て、復興をとげました。

1978年整備

「緑の軸線構想」の一部として、吉田川・新吉田川を埋め立て、大通り公園が整備されました。

「緑の軸線構想」とは、臨海部の山下公園から日本大通り、横浜公園、そして内陸部の蒔田公園までをつなぐ緑のネットワークを作る構想です。

1999年からの再整備

今の姿となり、「緑の軸線」を支えるまちの大切な緑として、市民の憩いの場となっています。



当初の大通り公園の様子



現在の大通り公園の様子

01 リニューアルを考える上で必要な視点

2-1

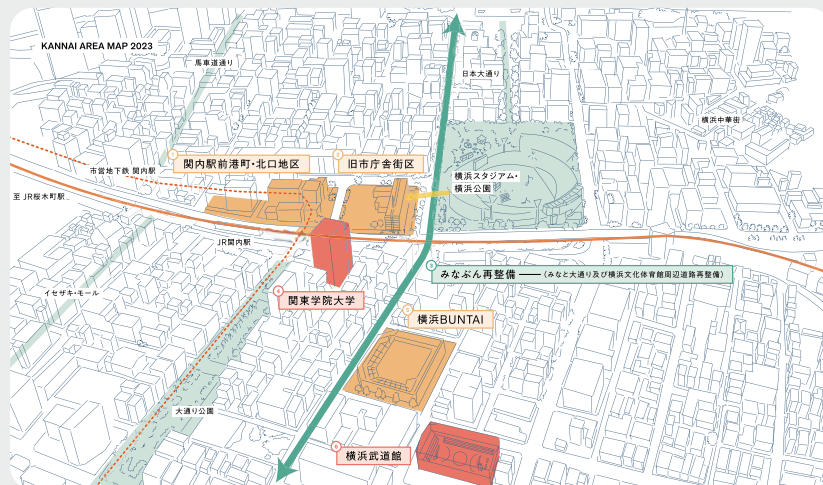
公園の特徴

立地特性

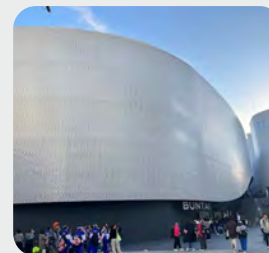
大通り公園が位置する、関内・関外地区は、横浜の中心として港と共に発展を遂げてきており、港町ならではの歴史や文化が息づく、都心臨海部における大変重要な地区です。

JR関内駅周辺には、旧市庁舎街区を含めオフィスビル、横浜スタジアムや横浜BUNTAIなどのスポーツ施設、関東学院大学など、「国際的な産学連携」「観光・集客」機能が集積しています。

市営地下鉄伊勢佐木長者町駅～阪東橋駅周辺には、横浜橋通商店街や伊勢佐木町商店街など昔からの街並みが残り、歴史ある西の市など、歴史と文化が色濃く残るエリアになっています。



関内えきちか未来プロジェクト「かんない、いかない?VOL3」より



01 リニューアルを考える上で必要な視点

2-2

公園の特徴

公園特性

01

東西に約1.2kmと長い公園で、面積は約3.6haです。



都市部の貴重なオープンスペースになっており、地下には市営地下鉄が通っています。

02

クスノキやメタセコイアなどの並木があり、まちの大切な緑です。



緑の軸線構想により、公園建設時に植えられ、もうすぐで樹齢は50年になります。

03

ソメイヨシノをはじめ、歌丸桜や啓翁桜など様々な桜が楽しめます。



歌丸桜は国の天然記念物指定の日本三大桜の一つ「三春滝桜」の子孫です。啓翁桜は米沢市の冬に咲く桜で、大通り公園に植樹したことから本市と米沢市の交流がスタートしました。

01 リニューアルを考える上で必要な視点

2-3

公園の特徴

公園特性

04

様々な催し物やイベントが開催されています。



陶器市、近年では関東学院大学による関キャンfes.×KAN-KAN Parkが行われています。また例年11月には、酉の市が公園周辺で行われます。

05

公園愛護会が花壇の手入れをしています。



3区では、公園愛護会の皆様が育てている、きれいなタチアオイを見ることができます。

06

防災・災害対応としての利用も想定されます。



横浜市防災計画等において、広域避難所等特別な指定はされていませんが、災害時には一時的な避難場所として利用されることも想定されます。

01 リニューアルを考える上で必要な視点

3-1

公園の現状

8区

横浜橋通商店街に面しており、市営地下鉄阪東橋駅の入口になっています。歌丸桜や平和記念碑など、歴史や文化を継承する施設があります。



7区

横浜橋通商店街に面しており、催しものなどが開かれています。遊具があり、こども達に利用されています。



6区

クスノキの高木と中央部にソメイヨシノの桜が植栽され、緑に囲まれた空間となっています。



5区

クスノキの高木と中央部に啓翁桜を始めとした桜が植栽され、緑に囲まれた空間となっています。周辺には、山吹公園や伊勢佐木署、中消防署があります。



01 リニューアルを考える上で必要な視点

3-2

公園の現状

4区

市営地下鉄伊勢佐木長者町駅の入口であり、レンガを基調した空間となっています。



3区

市営地下鉄伊勢佐木長者町駅の入口であり、水の広場や沈床花壇があり、公園愛護会が花壇の手入れや清掃を実施しています。



2区

メタセコイア並木や広いオープンスペースがあり、イベントなどで利用されています。



1区

JR関内駅からの玄関口であり、関東学院大学横浜・関内キャンパスに面し、ロダンの彫刻や芝生広場があり、くつろぐ公園利用者の姿が見られます。



01 リニューアルを考える上で必要な視点

4

公園の課題

	樹木の管理	公園の美化	魅力的な機能強化	ソフト施策の充実	公園愛護会の更なる活性化
課題	● 防犯面で不安を感じる ● 木の高木化による枝の落下や倒木などの事故の恐れがある	● 雑然としている ● 野鳥のフンや放置されたごみにより汚れている ● トイレなど古くて清潔感を感じられない施設がある	● こども達が遊べる場所が限られている ● ゆっくりできるベンチなどの施設が不足している ● 通り抜けるだけの空間になっている	● イベントができる空間が限られている ● イベント時に、休憩できる場所がない ● 周辺施設との連携がまだ十分とはいえない	● 公園エリアの多くは公園愛護会の活動がない (現在の活動エリアは3区) ● 公園愛護会の担い手不足
求められること	適切な剪定などによって安全面などに配慮しつつ、まちの大切な緑として保つ必要があります。	植栽や施設の統一感・質の向上による魅力アップが求められます。	子育て世帯向けのこどもの遊び場や地域の方々をはじめ公園利用者にとって必要な機能を強化することが求められています。	地域の催しものやイベントなど公園を活用し、公園だけでなく周辺地域を含めた、にぎわいづくりや地域との交流を行うことが求められています。	公園の美化や地域との交流促進のため、公園愛護会活動のさらなる広がりが求められています。

02 プラン策定までの経緯

令和元年度 関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン策定（都市整備局）

市庁舎の移転等を契機とした関内駅周辺地区の新たなまちづくりの方針として、令和2年に「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を策定し、「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとしたまちづくりを進めてきました。

関内駅周辺地区エリアコンセプトプランにおいて、大通り公園については、関東学院大学や横浜BUNTAI等の新たな施設に関わるプレイヤーによる活用を促進するとともに、周辺の既存商店街を含めたまちのにぎわい創出につながるよう、公園の魅力を高めることとしています。

令和3年度～ 関内えきちか未来プロジェクトスタート（都市整備局）

「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を踏まえ、令和3年度から地域の方々や事業者と連携して、「関内えきちか未来プロジェクト」を実施しています。（大通り公園の社会実験は平成29年度から実施）



親子向けのクリスマスオーナメントづくりのワークショップ

大通り公園では、夜間の公園活用検討の一環として、関東学院大学による親子向けのクリスマスオーナメントづくりのワークショップや、8区では、地域と連携し、20基以上の「絵どうろう」の展示などを実施しました。



「絵どうろう」の展示

02 プラン策定までの経緯

令和4年度 大通り公園パークマネジメントプラン策定【1～3区版】

そのような取組が進む中、市民の方々にご意見を聞きながら、令和4年度に、大通り公園の1～3区について、将来像と方針を示した「大通り公園パークマネジメントプラン【1～3区版】」を策定しました。

その後、プランに基づく「交流・憩い・賑わいの創出を目指した公園再生」というリニューアルコンセプトに沿って、令和6年度、民間事業者によるPark-PFI事業によるリニューアルをスタートしました。

将来像

関内・関外地区の緑の軸線として、花や緑による魅力向上、
公民連携による賑わい創出により、誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指します。

方針
①

— 花や緑による「緑の軸線」の更なる魅力向上を目指します

方針
②

— 公民連携による賑わいの創出など、公園の魅力向上を目指します

方針
③

— 誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指します

03 プラン策定にあたりいただいた主なご意見

案策定にあたり、以下の方々にご意見をいただきました！

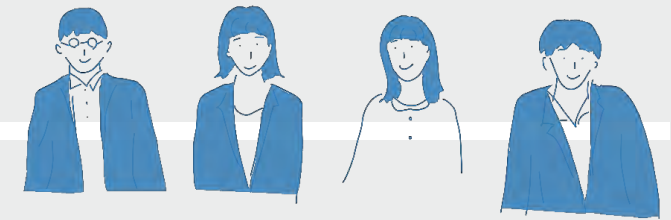
- 大通り公園水の広場愛護会
- 中区第1地区中部連合町内会・中区埋地地区連合町内会・南区寿東部連合町内会
- 横浜橋通商店街・伊勢佐木町商店街（伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合、協同組合伊勢佐木町商店街）
- 関東学院大学横浜・関内キャンパスほか



関東学院大学横浜・関内キャンパスに通う大学生の皆様とのワークショップの様子



03 プラン策定にあたりいただいた主なご意見



こどもの遊べる場所を
増やしてほしい

商店街と相互で人の
にぎわいがつながるような
公園になるとよい

吉田新田など公園や地域の
歴史を学べるように
してほしい

都市部の貴重な緑に
なっているので、残してほしい

“おおどおり公園”といえは横浜と
思ってもらえるような質の高い
公園になってほしい

災害時にいっとき避難場所として
使えるようになるとうい

四季を感じられる散歩して
楽しい公園にしてほしい

公園全体で木々を活かした
イルミネーションスポットに
なるとよい

横浜スタジアムやBUNTAI、
関東学院大学など周辺施設と
連携したイベントを
実施してほしい

